

# 令和元年度(平成30年度実施事業分)事務事業評価各課総括表・2次評価表

2次評価者

半田病院事務局管理課

半田病院事務局長 竹内 甲司

整理No	事務事業名	3か 年実 施計 画	事業の評価・課題		今後の事業の方向性	
			自己 評価	評価内容	方向性	内容
34-001	病院経営事業	なし	A	医師不足の地域の中においても診療に必要な医師数を確保するとともに、地域の医療機関等との連携強化に努めたことで入院患者数が大幅に増加した。診療報酬改定において加算要件が厳格化された状況下においても急性期一般入院料1(旧7対1)看護体制を維持し、質の高い急性期医療の提供に努めた結果、大幅な経営改善を達成することができた。人件費の上昇や高額薬品・材料費の使用増により費用は引き続き増加しているが、価格交渉をはじめ採用品目や契約内容の見直しなどによる経費節減に取り組み成果を上げることができた。	改善 推進	安定した医師の確保に努め、地域の医療機関等との連携及び機能分化を一層進めることで、急性期医療を中心とした患者の確保と安定した収益を確保する。消費税増税の影響は大きいですが、新たな施設基準の取得等による収益の増収とあわせて、材料費や委託費などの抑制による費用節減を強化することで、新病院建設に向けて健全で安定した経営を継続する。
34-002	看護職員確保対策事業	なし	B	「医療従事者の負担軽減及び処遇の改善に資する計画」の策定とともにワークライフバランスの推進に努めたほか、育成の強化やコミュニケーションの充実を図り、新規採用者の離職率については改善することができた。家庭の都合のほかやむを得ない事情などにより、常勤看護師の離職率については増加したが、入院患者数の増加や施設基準の厳格化にとまない、看護師の負担が増えた状況の中においても目標値については達成することができた。	改善 推進	働き方改革に合わせて、さらなるワークライフバランスの推進に努めるほか、教育・育成体制の充実による新たな目標やスキルアップへの支援を行うことで、心身両面の負担軽減を図り、看護の質の向上とあわせて働き続けられる職場環境を整える。
34-003	新病院建設事業	あり	B	平成30年6月1日に「常滑市・半田市医療提供体制等協議会設置に関する協定書」を締結するとともに、4回の協議会及び8回の作業部会を開催し、常滑市民病院との機能連携や経営形態のあり方の具体的な方策等について検討を行った。また、31年2月4日には、協議会での検討結果を踏まえ、両病院の診療統合及び経営統合に向けた病院連携協議に関する合意書を取り交わした。 建設関連事業に関しては、建設予定地の変更にも柔軟に対応し、事前調査業務については100%、土地利用計画策定業務についても当該年度の予定出来高をほぼ達成することができた。	現状 維持	常滑市民病院との診療統合及び経営統合を実現するために、「半田市立半田病院・常滑市民病院統合会議」を開催し、協議する。 一方、建設工事関連においては、現病院が抱える老朽化、耐震性、狭隘化等の課題を解決するために、知多半島中南部全域における中核病院として、救急医療を中心とした政策的医療を継続的に担う新病院を、安全にかつ遅滞なく建設する。
課等長	1次評価(30年度の総括評価)					
B	病院経営に関しては、平成29年度の1億2,600万円の赤字決算から、2億4,000万円余りの黒字決算へと大きな改善を図ることができた。地域診療機関との連携強化により、機能分担を推進した結果であるが、近隣病院の医師不足により、患者が当院に一時的に流入している影響もあり、好転した要因を細かく分析していく必要がある。当院も精神科、皮膚科の常勤医不在、消化器内科医師の不足による新規患者の診療制限を実施するなど、総合病院として機能が低下している現状があり、医師確保は重要な課題となっている。30年度においても常滑市民病院とは医師や医療技術者の派遣等でのお互いの不足職種をカバーする連携を行ってきたが、今後も看護師等の相互派遣を進めるなど、新病院建設後の両病院の姿を、具現化していく協議を進めていく。30年度の医療提供体制等協議会における提言、両市の合意書はその基礎となっている。					
部等長	2次評価(30年度の総括評価並びに今後の方針及び指示事項)					
B	地域の中核病院としての役割を十分に果たすほか、診療に必要な医師・看護師数の確保と診療報酬改定への適切な対応を行うとともに、各部門における経営改善努力が実を結んだ結果、大幅な収支改善とともに新病院建設に向けて大きな弾みをつけることができた。消費税増税後も健全経営を継続するとともに働き方改革への対応など、職員一丸となって取り組み、良質な医療の提供を通じて地域の信頼にこたえていく。 また、新病院建設の準備を遅滞なく進めるとともに、常滑市民病院との診療統合及び経営統合の実現に向けて着実に事業を進め、知多半島中南部全域の医療提供体制の整備を図っていく。					